**令和4年度「みんなで話そう―看護の出前授業」申 込 書**

**以下のとおり申し込みます。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申込年月日　　　年　　　月　　　日**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1　学校名 |  | | | |
| 2　担当者名 | 教科：  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　役職： | | | |
| 3　連絡先 | 住所：〒 | | | |
| 電話： 　　　（　　）　　　　　　　　FAX：　　　（　　） | | | |
| Eメール： | | | |
| 4　対象学年・人数 | 第　　　学年 □希望者のみ　□全員 | | | 参加対象人数　　　人 |
| 5　科目・ねらい | <科目> | | <ねらい>  (例1：進路の動機付け　例2：命について考えさせる) | |
| 6　実施希望日時 | 第1希望 | 月　　　日（　　）　　　時　　分　～　　時　　分（全　　分） | | |
| 第2希望 | 月　　　日（　　）　　　時　　分　～　　時　　分（全　　分） | | |
| 第3希望 | 月　　　日（　　）　　　時　　分　～　　時　　分（全　　分） | | |
| 7　授業内容の希望  ※より具体的な希望があれば、  下欄にお書き添えください | ご希望の内容に🗹をつけてください（複数回答可）  □看護職の仕事（仕事内容・魅力、患者とのエピソードなど）  □看護職への道（資格の取り方、看護職になるめの進路など）  □いのちの大切さ、こころとからだの話  □簡単な看護技術の体験（聴診器で心音を聞く。血圧や脈を測るなど）  □そのほか（詳細は下欄にお書き添えください）  ※授業に関するご要望についてご自由にご記入下さい  (例1)看護師を目指す生徒が増えています。同時に現実を知らないまま目指している生徒もおり、ミスマッチが発生しないよう、仕事の厳しさとやりがいをしっかりと分からせたい。  (例2) 例年助産師さんに出前授業に来ていただき、「生命の誕生」命の大切さについて、思春期の身体の変化についての話をお願いしています。赤ちゃんのお腹での動きなどの話を聞き、子ども達は感じる事が多いようです。助産師の仕事、自分と仕事とは、命を扱う仕事についてキャリア教育としての話も希望します。 | | | |
| 8　取材対応の可否 | 地元紙などからの取材に　　□協力できる　　　　□協力できない  ※ご協力いただける場合は、地元メディア等に取材案内を配信します。取材の申込みは看護協会で受け付けます。 | | | |
| 9　講師への謝礼 | 謝　礼：支払い可能額【￥　　　　　　】　・　支払い不可能  交通費：実費【￥　　　　　　】まで支払い可能 | | | |
| 10　その他  (希望、連絡など） | （例1：保護者も一緒に参加したい　例2：職業体験の1日行事の中で実施したい など） | | | |
| ※ご記入いただきました情報や、出前授業後にご提出いただく実施報告の内容は「看護の日・看護週間」事業の広報活動でのみ利用させていただきます。 | | | | |
| **申し込み・問い合わせ先：茨城県ナースセンター　TEL　029-221-7021**  FAX　029-226-0493　　メール　[y.haryu@ina.or.jp](mailto:y.haryu@ina.or.jp)　　担当　波立（波立） | | | | |